

(4) 入学試験の状況 (平成19年度)

a. 学部

	学科名	募集定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願率 B/A	合格率 D/C
一般選抜分	物質科学科	70	1,021	579	258 (164)	94	1,458.6	44.6
	生命科学科	65	976	613	199 (140)	59	1,501.5	32.5
	合計	135	1,997	1,192	457 (304)	153	1,479.3	38.3
推薦入学分	物質科学科	20	17	17	16	16	85.0	94.1
	生命科学科	20	30	30	25	25	150.0	83.3
	合計	40	47	47	41	41	117.5	87.2

- (注) 1. 合格者数欄の () 内書きは、入学辞退者数を記載した。
 2. 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数の上段は、A○入試を外数で記載した。
 科目等履修生は前期3名、後期0名、計3名。

b. 大学院

課程	専攻名	募集定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願率 B/A	合格率 D/C
博士前期課程	物質科学専攻	32	27	25	25 (8)	17	84.4	100.0
	生命科学専攻	28	45	43	41 (11)	30	160.7	95.3
	計	60	72	68	66 (19)	47	120.0	97.1
博士後期課程	物質科学専攻	11	6	6	6 (0)	6	54.5	100.0
	生命科学専攻	9	4	4	4 (0)	4	44.4	100.0
	計	20	10	10	10 (0)	10	50.0	100.0
合計		80	82	78	76 (19)	57	102.5	97.4

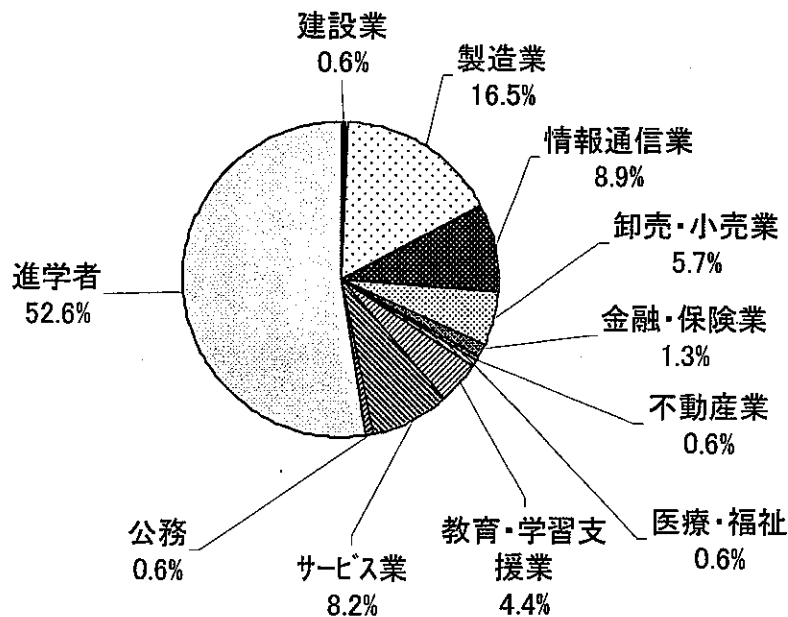
- (注) 1. 合格者数欄の () 内書きは、入学辞退者数を記載した。
 2. 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数の上段は、外国人特別学生を外数で記載した。

(5) 卒業生の就職・進学状況 (平成19年3月卒業)

①理学部 (姫路工業大学の卒業生)

区 分		性 別		計	
		男	女		
就 職	志 望 者	A	51	24	75
	就 職 者		51	24	75
	就 職 率	%	100.0	100.0	100.0
	卒業生に対する 就職志望者の割合	%	43.6	48.0	44.9
進 学	志 望 者	B	62	21	83
	進 学 者		62	21	83
	進 学 率	%	100.0	100.0	100.0
	卒業生に対する 進学志望者の割合	%	53.0	42.0	49.7
就職進学とも に志望しな かった者	自家営業に 従事するため				
	在学中に就職したため				
	そ の 他		4	5	9
	計	C	4	5	9
就職進学ともに志望した者		D			
卒業生数		A+B+C-D	117	50	167

(平成19年4月1日現在)



(主な就職先)

理学部

西日本電信電話
三菱重工業
日本電気
神戸製鋼所
住友金属工業
積水ハウス
三洋電機
キャノン
NTTデータ
マツダ
日本アイ・ピー・エム
三井不動産
スズキ
京セラ
大日本印刷
凸版印刷
キリンビール
西日本旅客鉄道
アステラス製薬
ローム
大日本インキ化学工業
大和ハウス工業
キャノンマーケティングジャパン
オムロン
KDDI
武田薬品工業
富士電機ホールディングス
東京エレクトロン
エーザイ
第一三共
オリンパス
泉州銀行
コニカミノルタホールディングス
ダイセル化学工業
住友ゴム工業
コプこうべ
大日本スクリーン製造

カネカ
日立製作所エンジニアリング
TDK
船井電機
田辺製薬
上組
協和発酵工業
住友重機械工業
関西ペイント
アシックス
東洋ゴム工業
日本水産
ニプロ
大王製紙
伊藤ハム
富山化学工業
森永乳業
塩野義製薬
千趣会
中外製薬
山陽特殊製鋼
ウシオ電機
太陽誘電
日産化学工業
大真空
TIS
日本合成化学工業
富士通ゼネラル
小野薬品工業
科研製薬
日本CMK
ユニ・チャーム
浜松ホトニクス
雪印乳業
タキロン
三菱ウェルファーマ
栗田工業

大日本住友製薬
日本電産
日本電気システム建設
三洋化成工業
日本バルカー工業
NECトーキン
グローリー工業
山崎製パン
バンドー化学
日新電機
ハリマ化成
日本ヒューレットドバックカード
日本バイリーン
大日本塗料
小野測器
日本ペイント
富士ソフト
兵庫県庁
和歌山県庁
姫路市役所
明石市役所
伊丹市役所
加古川市役所
兵庫県警
大阪府警
警視庁
北海道警
徳島県警
山口県警
兵庫県教育委員会
大阪府教育委員会
鹿児島県教育委員会
近畿大学附属高等学校
日本郵便公社
日本紡績検査協会
姫路市医師会
京都微生物研究所
社団大分県薬剤師会センター

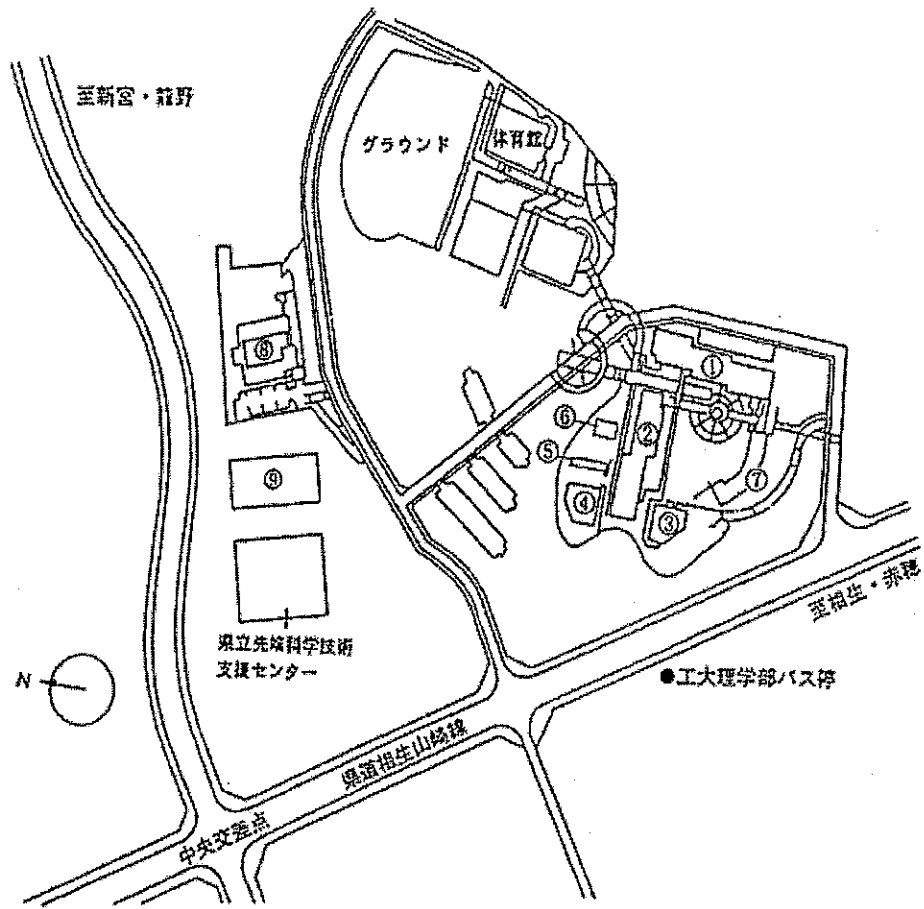
②大学院

区 分		性 別 課程名	男		女		計
			博士前 期課程	博士後 期課程	博士前 期課程	博士後 期課程	
就 職	志 望 者	A	45	9	13	3	70
	就 職 者		45	9	13	3	70
	就 職 率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	卒業生に対する 就職志望者の割合	%	83.3	64.3	81.3	100.0	80.5
進 学	志 望 者	B	8		1		9
	進 学 者		8		1		9
	進 学 率	%	100.0		100.0		100.0
	卒業生に対する 進学志望者の割合	%	14.8		6.3		10.3
就職進学 ともに志望 しなかつた者	自家営業に 従事するため						
	在学中に就職したため						
	そ の 他		1	5	2		8
	計	C	1	5	2		8
就職進学ともに志望した者		D					
卒業生数		A+B+C-D	54	14	16	3	87

就職者の内訳

区 分		性 別 課程名	男		女		計
			博士前 期課程	博士後 期課程	博士前 期課程	博士後 期課程	
建 設 業			1				1
製 造 業			30	1	7		38
運 輸 ・ 通 信 業			3		2		5
卸 売 ・ 小 売 業							
サ ー ビ ス 業			11	8	4	3	26
合 計			45	9	13	3	70

(6) 播磨科学公園都市キャンパス構内配置図



- ① 理学部本部棟
- ② 理学部研究棟
- ③ 実験棟Ⅰ（生体材料センター）
- ④ 実験棟Ⅱ（ラジオアイソトープセンター）
- ⑤ 実験棟Ⅲ（低温センター）
- ⑥ 車庫棟
- ⑦ 大学会館
- ⑧ 学生寮
- ⑨ 高度産業科学技術研究所

5. 姫路新在家キャンパス

姫路新在家キャンパスの所在地は姫路市新在家本町1丁目1-12である。

当キャンパスには環境人間学部と大学院環境人間学研究科が置かれているほか、姫路工業大学の環境人間学部と大学院環境人間学研究科が並存するかたちになっており、教職員も2つの大学の職務を兼務している。これら学部及び研究科の概要は次のとおりである。

(1) 学生の状況

①環境人間学部は環境人間学科の1学科を設けている。

下記の学生数は平成19年5月1日現在の状況であり、姫路工業大学の環境人間学部が並存していることから、5回生以上の学生は姫路工業大学に属している。

定員	性別	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生以上	計
200	男	61	78	70	63	(5)	272(5)
	女	141	132	135	137	(2)	545(2)
	計	202	210	205	200	(7)	817(7)

() 外書きは姫路工業大学の学生である。

②大学院環境人間学研究科

課程	専攻名	区分					計
		定員	性別	1回生	2回生	3回生	
博士前期課程	環境人間学研究科	30名	男	17	(1) 17		(1) 34
			女	15	(1) 13		(1) 28
			計	32	(2) 30		(2) 62
博士後期課程	環境人間学研究科	6名	男	3	1	6	10
			女	4	4	2	10
			計	7	5	8	20
合計	合計	36	男	20	(1) 18	6	(1) 44
			女	19	(1) 17	2	(1) 38
			計	39	(2) 35	8	(2) 82

() 外書きは姫路工業大学の学生である。

(2) 教職員の状況

教職員は学部と大学院を兼務している。

a. 教員の状況(平成19年5月1日現在)

教 員	81名 (教授 45、准教授 26、講師 5、助教 5)
非常勤講師	16
計	<u>97</u>

b. 事務部職員の状況 (平成19年3月31日現在)

	総務課	学務課	学術情報課	計
事務職員	8	6	3	17
技能労務職等	5			5
臨時任用職員		1		1
非常勤嘱託員	2		2	4
計	15	7	5	27

(3) 教育理念、特色と学科

①環境人間学部

(教育理念)

環境は人間を映す鏡であるという認識に立ち、自然と人の共生、地域における互いの協調、さまざまな文化への共感を求めて、さまざまな学問分野が連携・協力しあって創り出す学融合の学問こそ環境人間学であるという考えのもと、環境と人間に関わる複雑な諸問題について、英知と技術を駆使して挑戦しうる人材の育成を目指している。

(特色)

- ・文系から理系まで、幅広いカリキュラムを設定している。
- ・8つの教育コースの中から、専門分野を選択できる。
- ・フィールドワーク (講義だけでは得られない知識を、学外での実体験を通して学ぶこと) が充実している。
- ・10～35人の少人数クラス編成で行う。
- ・情報・語学教育が充実している。

(学科)

当学部の学科は、環境人間学科だけであるが、次の8つの教育コースを設定している。

a. 環境解析・保全コース

本コースでは、環境問題を解明するための計測、解析技術、環境保全、改善に関する技術・知識を身に付け、さらに自然と社会システムとの関わりを理解し、環境に関連する技術的な仕事に取り組める人材の育成を目指している。

b. 生活環境創造コース

本コースでは、人の健康と食事・運動・体のメカニズムとの関わりを科学的に検証し、生涯を通しての健康づくりに役立つ新しいライフスタイルの創造を目指し、また健康によい生活環境と健全な心身をつくるための知恵と技術を身につけ、社会で活躍できる人材の育成を目指している。

c. 居住空間計画コース

本コースでは住まい・建築から都市にいたる人間の居住空間をフィールドとしている。21世紀の住まい・建築・都市は、大きな転換期を迎えており、さまざまな居住空間のあり方をどのようにとらえ、どのようにデザインするか、またそれと実現する手法は何かを追求している。

d. 地域創造コース

本コースでは、地球環境問題や地域紛争、深刻化する都市と農村の諸問題など背景の異なる諸問題を地域に即して丁寧に解きほぐしながら、農村から都市、国土、国際社会に及ぶ人間活動の場としての地域のあり方を研究し、新しい地域社会への展望を切り拓き、よりよい環境を創りあげる能力と行動力のある人材を育成することを目指している。

e. 環境情報コース

本コースでは、講義、専門ゼミナールや卒業研究などを通して、デジタル情報技術を自在に駆使できる能力を身につけてもらい、社会が求める、また、社会で活躍できる人材の育成を目指している。

f. 環境思想政策コース

本コースでは、環境問題へのより良い対応を立案し提言することを目標にして、欧米の環境思想や政策などとも対比しつつ、日本の環境政策や環境行政、官公庁や民間企業における環境問題への取り組み等、様々なレベルの環境対応の現状を調査し検討する。

g. 人間形成・発達コース

本コースでは、人の一生を学びの過程と考え、乳幼児期、学校教育期、社会人、それぞれの段階における学びとその環境構築について考察・研究していくことを目的として、人の健康、心のあり方、家族関係、教育問題、教養、生涯学習基盤の問題等々について検討し、より良い人間形成と発達が保障される環境づくりのための研究を行っている。

h. 言語・文化コース

本コースでは、ヨーロッパ、アメリカ、中国といった地域や国々の言語と文化について、多様な角度から学び、それらを通して、私たちとは異なるものの見方、価値観に対する理解を深めるとともに、日本の言語と文化を学ぶことによって、複眼的な視点に立ち、日本的なもの見方・価値観を相対的にとらえ直す力を養う。本コースは、新しい文化や社会を柔軟な思考と斬新な発想をもって創造できる人材の育成を目指している。

②大学院環境人間学研究科

(研究理念)

環境人間学は、さまざまな専門分野の知を「環境」にあてつつ、「人間」をベースに探求しようとするものであり、本研究科では、理系から文系まで環境に関する多様な専門分野の研究者が、環境と人間のあり方を正しく理解し、新たな関係を構築することを目指し、創造的な視点から、より高度で専門的な知識や能力を持った人材や地域リーダーの育成を目指している。

(研究内容)

平成19年度は人間環境部門および社会環境部門に共生博物部門を加え、3部門となっている。各部門の内容は次のとおりである。

・人間環境部門

食、身体、住、思想・文化に関する科目を配当し、多角的な視点から人間環境にアプローチし、デザインできる専門家の育成を目指している。

・社会環境部門

自然環境の分析やそれらの情報の解析・処理、都市計画などの各種政策・計画論、幼児から市民に至る幅広い年齢層を対象とした教育論に関する科目を配当し、人間社会と自然環境の関係を理解し、日本をはじめとするアジア太平洋諸国においてよりよい地域環境を創造できる専門家の育成を目指している。

・共生博物部門

平成19年4月に自然・環境科学研究所の参加を得て新しい研究部門を設置した。この部門では生物多様性保全の観点から人と自然の関係を理解し、それにもとづいて共生のあり方を提案する専門家の育成を目指している。

(4) 入学試験の状況 (平成19年度)

a. 学部 (環境人間学科)

	募集定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願率 B/A	合格率 D/C
一般選抜分	120	731	697	4 (1) 176 (52)	3 124	% 609.2	% 25.3
推薦入学分	80	258	257	76 (1)	75	322.5	29.6
計	200	989	954	4 (1) 252 (53)	3 199	494.5	26.4

- (注) 1. 合格者数欄に入学辞退者を () 内書きした。
 2. 上段に外国人特別学生及び帰国生特別選抜学生を外数で記載した。
 科目等履修生は前期5名、後期0名、計5名
 研究生は4名

b. 大学院 (環境人間学専攻)

課 程	募集定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願率 B/A	合格率 D/C
博士前期課程	30	41	40	37 (5)	32	% 136.7	% 92.5
博士後期課程	6	7	7	7	7	116.7	100.0
計	36	48	47	44 (5)	39	133.3	93.6

(5) 卒業生の就職・進学状況 (平成19年3月卒業)

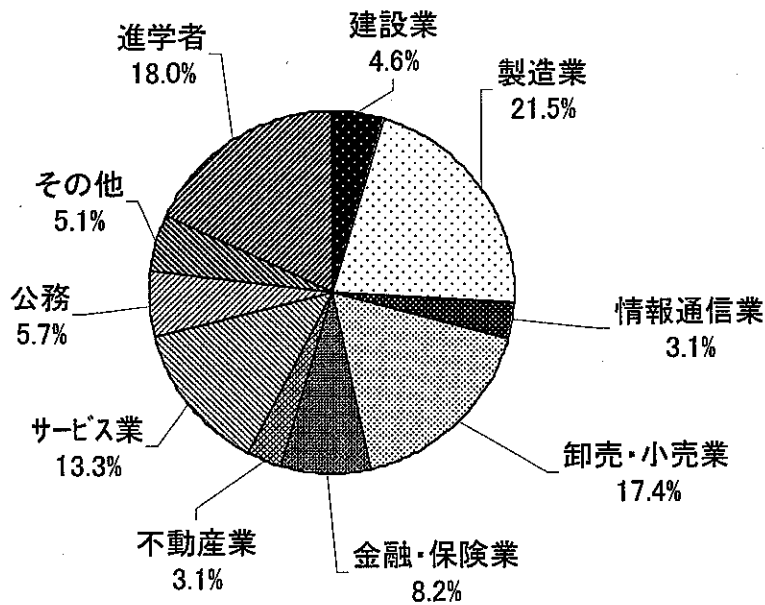
① 環境人間学部 (姫路工業大学の卒業生)

区 分	性 別		男	女	計
	志 望 者 A				
就 職	志 望 者	A	46	120	166
	就 職 者		45	115	160
	就 職 率	%	97.8	95.8	96.4
	卒業生に対する 就職志望者の割合	%	64.8	85.1	78.3
進 学	志 望 者	B	19	16	35

	進学者	16	15	31
	進学率 %	84.2	93.8	88.6
	卒業生に対する 進学志望者の割合 %	26.8	11.3	16.5
就職進学ともに 志望しなかつた者	自家営業に 従事するため	1	1	2
	在学中に就職したため			
	その他	5	4	9
	計 C	6	5	11
就職進学ともに志望した者 D				
卒業生数 A+B+C-D		71	141	212

(平成19年4月1日現在)

環境人間学部



(主な就職先)

環境人間学部

積水ハウス
旭化成ホームズ
セキスイハイム山陽
パナホーム兵庫
昭和住宅
栗本建設工業
西松建設
ONTEX
フジパン
日本食研
ヒガシマル醤油
沢の鶴
ヤエガキ醸酵技研
ヤマサ蒲鉾
岡野食品産業
成田珈琲
オイシス
ブンセン
キリンビール
テンファッションズ
ファイブフォックス
読売新聞大阪本社
読売DC
セントラルサクセス
ノエビア
アストラゼネカ
小林製薬
大塚製薬
中外製薬
トステム
アサヒブリテック
テイエルピー
グローリー工業
三浦工業
大和製衛
サタケ
福伸電機
アイベステクノ
日本IBM
帝国電機製作所
フジプレアム
常盤電機
アシックス

田崎真珠
CSK
TIS
富士通テン
応用技術
NTTデータネット
エヌ・ティ・ティ・システム開発
さくらケーシーエス
西日本旅客鉄道
神姫バス
鴻池運輸
西濃運輸
ヤマト運輸
エイチ・アイ・エス
神戸高速鉄道
JTBトラベランド
日本交通
三洋航空サービス
関西日立家電
ユアサ商事
イトーヨーカ堂
三陽百貨店
コープこうべ
ファーストリテイニング
西松屋チェーン
ミドリ電化
イオン
鈴丹
ネットトヨタ兵庫
神戸マツダ
ホンダ兵庫
伊丹産業
三菱証券
三井住友銀行
兵庫信用金庫
播州信用金庫
但馬信用金庫
西兵庫信用金庫
日新信用金庫
近畿労働金庫
姫路信用金庫
百十四銀行
みなと銀行

東京海上日動
日本生命
明治安田生命
日本管財
日本ケンタッキーフライドチキン
神戸ポートピアホテル
ゴダイ
神戸聖隷福祉事業団
神戸福生会
岡本ゼミナール
滋慶学園グループ
JA兵庫みらい
JA加古川南
JA兵庫西
JAみのり
JA兵庫六甲
JA岡山西
日本エコテック
日本紡績検査協会
大和工商リース
総合警備保障
パスコ
トーカイ
東洋テック
にちほシンクタンク
姫路商工会議所
日本郵政公社
陸上自衛隊
兵庫県庁
兵庫県警
岡山県警
千葉県警
西宮市役所
赤穂市役所
たつの市役所
相生市役所
三木市役所
小野市役所
茨木市役所
高槻市役所
姫路市消防局
加古川市消防局
宍粟市役所
福山市役所

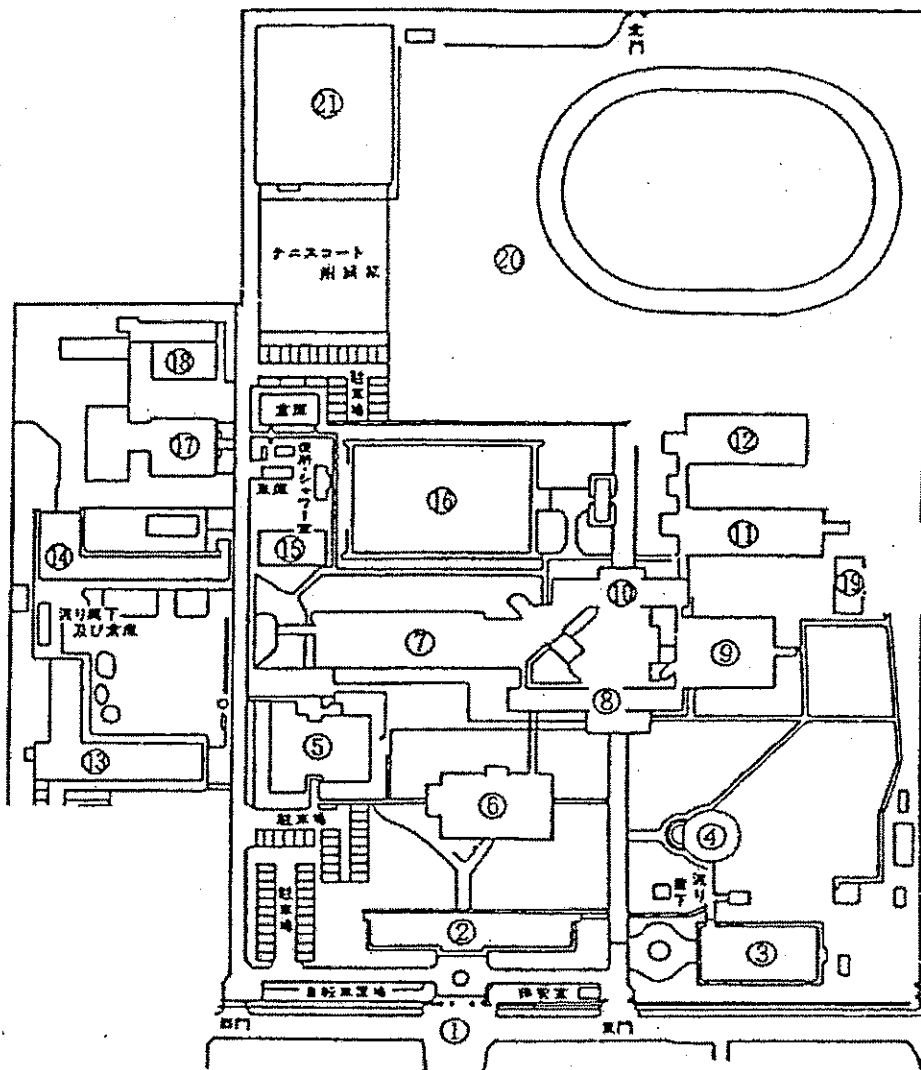
②大学院環境人間学研究科（姫路工業大学）

区 分		性 別	男		女		計	
			博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程		
就 職	志 望 者	A	6	1	5	1	13	
	就 職 者		6	1	5		12	
	就 職 率	%	100.0	100.0	100.0		92.3	
	卒業生に対する 就職志望者の割合	%	40.0	100.0	50.0	100.0	48.1	
進 学	志 望 者	B	4	/	1	/	5	
	進 学 者		4		1		5	
	進 学 率	%	100.0		100.0		100.0	100.0
	卒業生に対する 進学志望者の割合	%	26.7		10.0		18.5	
就職進学ともに 志望しなかつた者	自家営業に 従事するため							
	在学中に就職したため							
	そ の 他	C	5		4		9	
	計		5		4		9	
就職進学ともに志望した者		D		/		/		
卒業生数		A+B+C-D	15	1	10	1	27	

就職者の内訳（平成19年3月）卒業

区 分		性 別	男			女			計
			博士前期課程	博士後期課程	小計	博士前期課程	博士後期課程	小計	
建 設 業			4		4			4	
製 造 業				1	1	1	1	2	
サ ー ビ ス 業			2		2	4	4	6	
合 計			6	1	7	5	5	12	

(6) 姫路新在家キャンパス構内配置図



番号	名 称	番号	名 称
①	正 門	⑫	研 究 棟 IV
②	ゆ り の 木 会 館	⑬	い ち ょ う 南 館
③	講 堂	⑭	い ち ょ う 北 館
④	音 楽 堂	⑮	あ じ さ い 館
⑤	姫路新在家学術情報館	⑯	体 育 館
⑥	講 義 棟	⑰	学 生 会 館
⑦	情 報 ・ 教 育 棟	⑱	ク ラ ブ ハ ウ ス
⑧	事 務 棟	⑲	設 備 棟
⑨	研 究 棟 I	⑳	運 動 場
⑩	研 究 棟 II		テ ニ ス コ ー ト
⑪	研 究 棟 III		

6. 明石キャンパス

明石キャンパスの所在地は明石市北王子町 13-71 である。

当キャンパスには看護学部と大学院看護学研究科が置かれているほか、県立看護大学の学部、大学院が並存するかたちになっており、教職員も2つの大学の職務を兼務している。これら学部および大学院の概要は次のとおりである。

(1) 学生の状況

①本学部は看護学科の1学科が設けられている。下記の学生数は平成19年5月1日現在の状況であり、県立看護大学が並存していることから、5回生以上の学生は県立看護大学に属している。

	性別	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	計
定員		100	100	(10) 110	(10) 110		(20) 420
学生現員	男	3	4	5	5		17
	女	99	98	(10) 104	(10) 109	1	(20) 411
計		102	102	(10) 109	(10) 114	1	(20) 428

(注) 3年時編入学定員10名で()は編入生で内書き

②大学院看護学研究科

課程	専攻名	区分 定員	性別	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生	計
				1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生	
博士 前期 課程	看護学研究科	25名	男	2	3	0	-	-	-	5
			女	18	21	1	-	-	-	40
			計	20	24	1	-	-	-	45
博士 後期 課程	看護学研究科	4名	男	0	0	1	0	0	0	1
			女	5	3	3	5	5	4	25
			計	5	3	4	5	5	4	26
合 計		29	男	2	3	1	0	0	0	6
			女	23	24	4	5	5	4	65
			計	25	27	5	5	5	4	71

(注) 外国人学生を()内書きした。

(2) 教職員の状況

教職員は学部と大学院を兼務している。

a. 教員の状況（平成19年5月1日現在）

教員	64名	(教授17、准教授11、講師7、助教17、助手12)
非常勤講師	26	
計	90	

b. 事務部職員の状況（平成19年3月31日現在）

	総務課	学務課	学術情報課	合計
事務職員	8	7	3	18
技能労務職等	2			2
臨時的任用職員	1	1		2
非常勤嘱託員等	5	1	3	9
計	16	9	6	31

(3) 教育理念、特色と学科等

①看護学部

(教育理念)

豊かな人間性の形成により生命の尊厳を基調とした倫理観を身につけ、社会の人々に信頼される高い看護の専門的知識・実践力を有し、地域や国際社会の保健・医療・福祉の課題に柔軟に対応し、職業創造ができる看護職を育成することを目指している。

(特色)

- ・生命の尊厳を理解し、人間の喜びや痛み、苦しみを分かち合い、人権を尊重して行動できる豊かな人間性を養う。
- ・幅広い教養と本格的に専門分野を学習できるよう工夫している。
- ・看護師、保健師の国家試験受験資格に加え、助産師の国家試験受験資格や養護教諭1種免許取得の可能性がある。
- ・日本屈指の恵まれた教育・研究環境にある。

(学科)

当学部の学科は、看護学科だけであるが、看護師、保健師に限らず、助産師養成課程、養護教諭の免許を取得するための教職課程が置かれている。講座は看護基礎、実践基礎看護、生涯健康看護、広域健康看護の4講座で編成されている。

②大学院看護学研究科

(研究理念)

本研究科は、人間の尊厳を基盤とし、保健・医療・福祉環境の変化に斬新的・創造的かつ先駆的に対応できる人材を育成し、実践と研究を通じて看護学の発展に寄与することを目的とする。

博士前期課程においては、広い視野に立って看護学の精深な学識を授け、高度な専門性を有する看護の実践能力や研究者としての基礎能力を養うものとする。

博士後期課程においては、看護学の分野における創造性豊かな研究者として、広い視野のもとに自立して研究活動を行うために必要な、高度な研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

(研究の内容)

看護学専攻博士前期課程には、高度実践看護コース及び研究コースが置かれており、高度実践看護コースは臨床で活躍する専門看護師を養成することを目的としているが、後期課程への進学も可能である。研究コースは5年間の課程を継続して履修することになっているが、前期課程のみで修士の学位を取得し修了することもできる。このように、高度実践看護コースと研究コースを併せ持つことで、臨床実践と研究がより有機的につながり発展することを目指している。研究分野は次の3分野に分けている。

・生涯健康看護分野

人間の成長発展過程を軸として、母性看護学、小児看護学、精神看護学、成人看護学、老人看護学の5つの専攻分野によって構成され、それぞれ特徴ある健康問題を抱える人々への看護を専門的に学ぶ。いずれの専攻分野にも、高度実践看護コースと研究コースが設けられている。

・看護基礎科学分野

がん看護学、看護生体機能学、看護病態学の3つの専攻分野によって構成され、人間の身体の機能と病気やその症状をはじめとして、病者体験にせまり、人間の生命や死にまつわる健康問題に焦点を当てた看護を学ぶ。がん看護学専攻分野は、高度実践看護コースと研究コースの両方のコースを設けており、看護生体機能学専攻分野と看護病態学専攻分野はいずれも研究コースのみを設けている。

・ 広域健康看護分野

広域健康看護分野は、組織看護学、地域看護学、国際地域看護学、災害看護学の4つの専攻分野によって構成され、個々人の健康問題、社会の中での健康、社会の中での看護の仕組み、さらには大きな健康被害をもたらす社会の現象に対する看護について学ぶ。

本分野の4つの専攻は、いずれも高度実践看護コースと研究コースを設けている。

(4) 入学試験の状況 (平成19年度)

① 学部

入学試験別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数
推薦入学	30	133	133	32	4.4	32
一般選抜(前期日程)	55	138	137	55	2.5	55
一般選抜(後期日程)	11	163	71	14	14.8	11
社会人A.O.	4	33	29	4	8.3	3
帰国生特別選抜	若干名	0	-	-	-	-
外国人留学生特別選抜	若干名	2	2	1	-	1
計	100	469	372	106	4.7	102
編入学	10	68	66	17	6.8	10

② 大学院

博士前期課程

入学試験別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数
一般選抜	25	29	28	21	1.2	20
外国人特別選抜	若干名	0	-	-	-	-

博士後期課程

入学試験別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	入学者数
一般選抜	4	7	6	5	1.8	5
外国人特別選抜	若干名	0	-	-	-	-

(5) 卒業生の国家試験合格者、就職・進学状況（平成19年3月卒業）

①保健師・看護師国家試験合格者数

年度	試験年次	卒業生数		保健師		看護師	
		うち編入生	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	
15	16	109	11	107	103	98	94
16	17	109	10	109	93	100	98
17	18	104	9	103	85	95	85
18	19	113	10	113	113	103	99

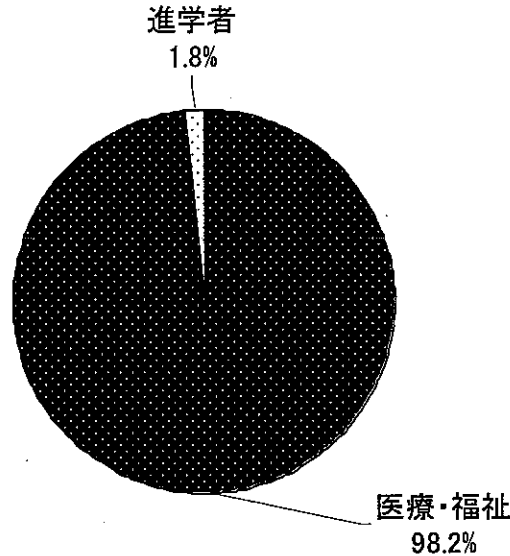
(注) 平成18年度卒業生に対して、平成19年2月に試験が実施される。

②看護学部

区分	性別		男	女	計
就職	志望者	A	4	106	110
	就職者		4	105	109
	就職率	%	100.0	99.1	99.1
	卒業生に対する 就職志望者の割合	%	100.0	97.2	97.3
進学	志望者	B		2	2
	進学者			2	2
	進学率	%		100.0	100.0
	卒業生に対する 進学志望者の割合	%		1.8	1.8
就職進学とも に志望しな かった者	自家営業に 従事するため				
	在学中に就職したため				
	その他			1	1
	計	C		1	1
就職進学ともに志望した者	D				
卒業生数	A+B+C-D		4	109	113

(平成19年4月1日現在)

看護学部



(主な就職先)

神戸大学医学部附属病院
 兵庫県立尼崎病院
 兵庫県立塚口病院
 兵庫県立西宮病院
 兵庫県淡路病院
 兵庫県立姫路循環器病センター
 兵庫県立成人病センター
 兵庫県立こども病院
 兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院
 神戸市立病院
 明石市立市民病院
 加古川市立市民病院
 三菱神戸病院
 西神戸医療センター
 公立学校共済組合近畿中央病院
 徳洲会高砂西部病院
 新日鐵広畑病院
 甲南病院
 関西労災病院
 鐘紡記念病院
 姫路赤十字病院
 川崎病院
 兵庫医科大学病院
 国立循環器病センター
 国立国際医療センター
 国立がんセンター中央病院
 国立育成医療センター
 神奈川県立病院
 静岡県立静岡がんセンター
 島根県立病院
 香川県立病院
 大阪府立病院
 大阪府羽曳野病院
 大阪市立病院

豊中市立豊中病院
 池田市立池田病院
 大和高田市立病院
 鳥取市立病院
 京都市立病院
 名古屋市立病院
 大阪府立大学医学部附属病院
 京都府立医科大学附属病院
 長崎大学医学部附属病院
 鳥取大学医学部附属病院
 東京医科歯科大学医学部附属病院
 大阪大学医学部附属病院
 大阪府警察協会大阪警察病院
 東京武蔵野野病院
 虎ノ門病院
 淀川キリスト教病院
 医療法人光愛会光愛病院
 済生会吹田病院
 大道会ホバース記念病院
 大阪厚生年金病院
 住友病院
 京都第一赤十字病院
 総合病院東京共済病院
 東京都済生会中央病院
 中国電力中電病院
 福岡県済生会福岡総合病院
 総合病院社会保険徳山中央病院
 国家公務員共済組合連合会新香里病院
 天理よろず相談所病院
 セコム(訪問看護ステーション)
 昭和大学横浜市北部病院
 日本医科大学医学部附属病院
 北里大学病院
 東京女子医科大学病院

慶応義塾大学病院
 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
 藤田保健衛生大学病院
 福岡大学病院
 兵庫県
 神戸市
 西宮市
 宝塚市
 明石市
 加古川市
 加西市
 高砂市
 加東市
 生野町
 東京都葛飾区
 大阪府茨木市
 大阪府枚方市
 大阪府熊取町
 京都市
 京都府城陽市
 滋賀県草津市
 滋賀県近江八幡市
 滋賀県長浜市
 静岡県三島市
 茨城県牛久市
 松下電器健康保険組合
 村田製作所
 京都府教育委員会(養護教諭)
 兵庫県立大学

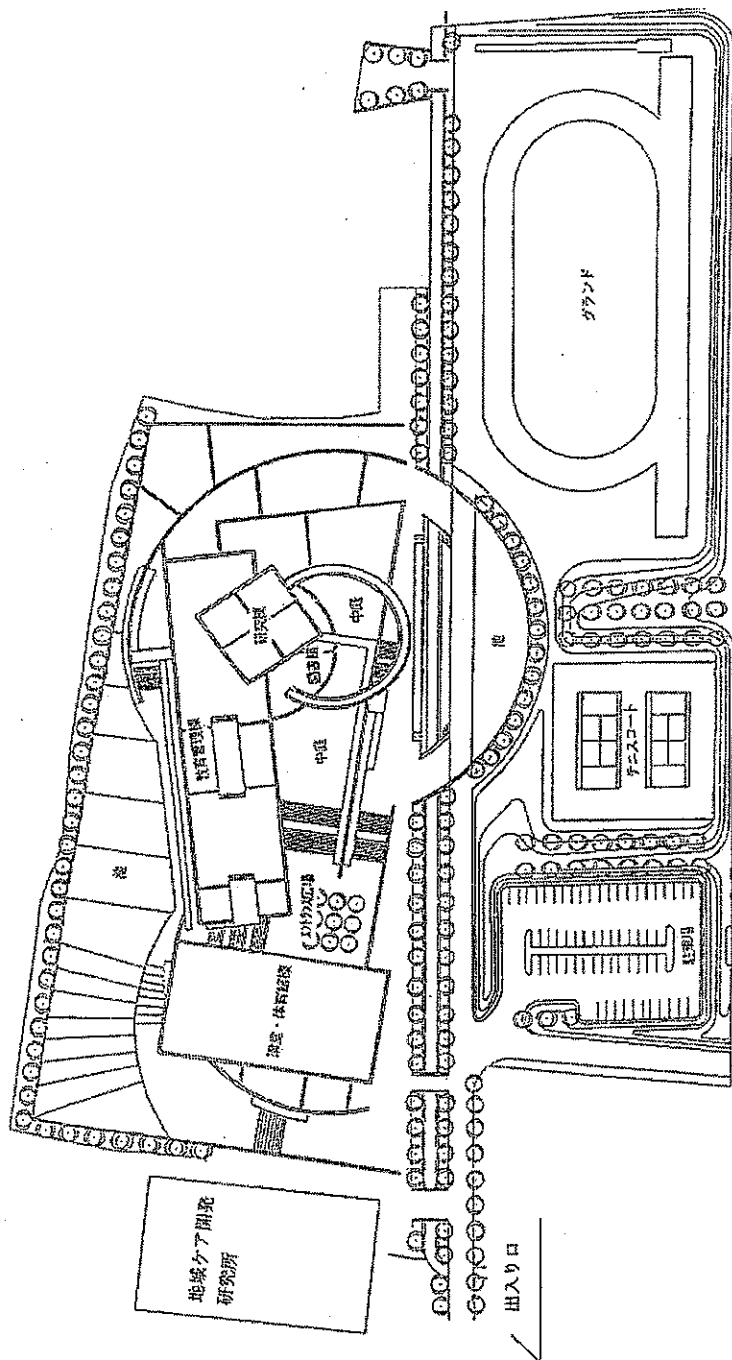
③看護学研究科

区 分		性 別	男		女		計
			博士前 期課程	博士後 期課程	博士前 期課程	博士後 期課程	
就 職	志 望 者 A		1		24	2	27
	就 職 者		1		24	2	27
	就 職 率 %		100.0		100.0	100.0	100.0
	修了生に対する 就職志望者の割合 %		100.0		100.0	100.0	100.0
進 学	志 望 者 B						
	進 学 者						
	進 学 率 %						
	修了生に対する 進学志望者の割合 %						
就職進 学とも に志望 しなかつた者	自家営業に 従事するため						
	在学中に就職したため						
	そ の 他						
	計 C						
就職進学ともに志望した者 D							
修了生数 A+B+C-D			1		24	2	27

就職者の内訳 (平成19年3月卒業)

区 分		性 別	男		女		計
			博士前 期課程	博士後 期課程	博士前 期課程	博士後 期課程	
医 療 ・ 福 祉			1		22		23
教 育 ・ 学 習 支 援 業					2	2	4
合 計			1		24	2	27

(6) 明石キャンパス構内配置図



7. 神戸キャンパス

神戸キャンパスの所在地は神戸市中央区東川崎町1-3-3である。

当キャンパスには大学院応用情報科学研究科と本部事務局が置かれている。

A. 応用情報科学研究科

当研究科博士課程（前期）は、平成16年4月、3つの旧県立大学の統合を機に、独立の情報系大学院として設置され、博士課程（後期）は平成18年4月より開設された。この研究科の概要は次のとおりである。

(1) 学生の状況（平成19年5月1日現在）

区分		定員	性別	1回生	2回生	3回生以上	計
課程	専攻名						
博士前期課程	応用情報科学専攻	40	男	17	20	3	40
			女	12	10	3	25
			計	29	30	6	65
博士後期課程	応用情報科学専攻	10	男	11	3		14
			女	3	6		9
			計	14	9		23
合 計		50	男	28	23	3	54
			女	15	16	3	34
			計	43	39	6	88

(2) 教職員の状況

a. 教員の状況（平成19年5月1日現在）

教 員	15名 (教授10、准教授5)
非常勤講師	7
計	<u>22</u>

b. 事務局職員の状況

事務局職員は5名が本部事務局と兼務している。

(3) 教育研究理念、特色と研究コースの概要

(教育研究理念)

情報科学技術の応用分野を政策、経営、福祉医療、看護の4領域に絞り、生活環境の質的向上に資する情報科学技術を独力で研究開発できる研究者あるいは専門家となりうる創造的かつ実践的な人材を育成することを目指している。

情報科学技術の政策、経営、福祉医療、看護への社会応用という学問分野は未成熟でかつ学際的であるため、課題探求型の教育体制が望ましく、学生個々の能力と適性にマッチしたインターンシップやフィールドワークを活用したマンツーマン指導体制を整え、学生の実践能力を養成するようにカリキュラムを組み、よりよい教育研究の場を提供するようにしている。

(特色)

a. 社会のニーズに合った教育研究

本研究科は複雑多様化する21世紀の社会的ニーズに応えるため、情報科学技術の社会への応用に重点を置いた教育研究を実施し、情報科学技術と各専門分野に関する多元的で複眼的な知識を具えた実践的な高度の人材を育成する。

b. 実学重視のカリキュラム

本研究科では、インターンシップを実施している。このインターンシップは、政策経営あるいは医療福祉看護にかかわる情報システムの技術開発の現場において要請される実用化研究やソリューション開発に従事させることを主題としており、さらには、論文作成のための特別研究の実施にあたり、産官学連携による共同研究を積極的に取り入れるなど、実学重視の教育研究体制をとっている。

c. 恵まれた教育研究環境

本研究科は、交通の便も良く、大学院生の研究室には、各学生の机に情報コンセントが設置されているとともに、70台を超えるパーソナルコンピュータが設置された情報処理室や情報演習室が整備されており、自習にも利用できるなど、整った情報ネットワーク環境となっている。

d. 社会要請に応える昼夜開講制

本研究科では、多様化する社会人の大学院教育の需要に対応するため、博士前期課程において、社会人学生を対象に授業、研究指導の昼夜開講を行っている。社会人にとって避けがたい時間的制約を緩和し、有望な社会人が在職のまま大学院の正規の授業を受け、高度な専門的知識と能力を培う機会を提供している。

(研究コースの概要)

当研究科には政策経営情報科学コースとヘルスケア情報科学コースを設けている。これらの概要は次のとおりである。

①政策経営情報科学コース

本コースでは、行政や政策にかかわる情報の収集・分析・処理、政策立案、あるいは環境・経済問題などを取り扱う様々な情報システムの構築と運用にかかわる応用技術に関して、実用的な研究開発を自立して推進できる創造的な研究者や技術者、あるいはフィールドワークや産官学共同研究を通じて社会に役立つ技術開発を独力で実行できる高度専門職業人を育成しており、この目的のために、本コースを「政策情報学」領域と「経営情報学」領域の2領域で構成している。

a. 政策情報学領域

政策情報学領域は、行政や政策にかかわる情報科学技術の応用に関する高度な教育研究を目的としている。

本領域修了者の活躍が期待される場

- ・ 地方自治体における企画、情報システム、情報セキュリティ、環境の各部門
- ・ 地域経済団体における企画、立案、起業支援、中小企業への情報化支援の各部門
- ・ 地方公共団体における産業、中小企業対策支援等の各部門
- ・ 民間のシンクタンク等の研究員
- ・ 情報あるいは総合政策系の大学、専門学校 等

b. 経営情報学領域

経営情報学領域は、経営における情報科学技術の応用に関する教育研究を目的としている。

本領域修了者の活躍が期待される場

- ・ 企業における経営企画、情報システム、情報セキュリティの各部門
- ・ 地域経済団体における起業支援部門、中小企業の情報化支援部門
- ・ 地方公共団体における起業、情報化支援や中小企業対策支援等部門
- ・ シンクタンク等での経営コンサルタントやSEの各部門
- ・ 情報、ビジネス、商学、環境系の大学、専門学校 等

②ヘルスケア情報科学コース

本コースでは、今日ますます複雑化しかつ多様化しているヘルスケア情報を分析・統合化し、施設や地域における保健・医療・福祉の効率的な運用を図るために必要な情報システムの構築と運用にかかわる研究開発を独力で推進できる創造的な研究者あるいは高度専門職業人を育成しており、そのために、「医療福祉情報学」領域と「看護情報学」領域の2領域で構成している。

a. 医療福祉情報学領域

医療福祉情報学領域は、検査、診断、治療、薬剤、看護などの診療に直接かかわる情報だけではなく、医事・病院管理に関する事項や疾病予防、健康管理、あるいは介護に関する多様な医療福祉情報の分析や管理を行うための処理方法、あるいは情報システムの構築や運用に関する教育研究を担当する。

本領域修了者の活躍が期待される場

- ・ 病院の医療情報部、病歴管理部、画像診断部門、リスクマネジメント部門
- ・ 医療情報系大学・医工学関連大学
- ・ 医工学関連研究施設
- ・ 各地方自治体医療・保健・福祉サービス関連部門
- ・ 医療・福祉情報システム構築企業
- ・ 医療・福祉機器、ロボット製造企業 等

b. 看護情報学領域

看護情報学領域は、病院や地域における看護・介護情報のデータベース化と、その効率的な運用を基盤として、情報システム化により看護・介護サービスの内容の向上と効果的・効率的なサービスの実現を可能とするような研究開発を行っている。

本領域修了者の活躍が期待される場

- ・ 病院の看護部（とくに看護管理部門）、医療情報部、リスクマネジメント部門
- ・ 訪問看護ステーション、在宅看護支援センター
- ・ 看護大学・看護学校
- ・ 各地方自治体医療・保健・福祉・介護サービス関連部門
- ・ 医療・福祉情報システム構築企業 等

(4) 入学状況（平成19年度）

	県立大学 出身者	他大学 出身者	外国の学校 卒業 者	その他	計
(博士前期課程)					
入学志願者数	13	18	1	5	37
入学者数	11	12	1	5	29
合格率%	84.6	66.7	100.0	100.0	78.4
(博士後期課程)					
入学志願者数	8	7	0	0	15
入学者数	7	7	0	0	14
合格率%	87.5	100.0			93.3

(5) 修了者の就職・進学状況 (平成19年3月卒、平成19年3月31日現在)

区 分		性 別	男		女		計
			博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程	
就 職	志 望 者	A	13		9		22
	就 職 者		13		8		21
	就 職 率	%	100.0		88.9		95.5
	卒業生に対する 就職志望者の割合	%	61.9		75.0		66.7
進 学	志 望 者	B	6		1		7
	進 学 者		6		1		7
	進 学 率	%	100.0		100.0		100.0
	卒業生に対する 進学志望者の割合	%	28.6		8.3		21.2
就職進学ともに 志望しなかつた者	自家営業に 従事するため						
	在学中に就職したため		3		2		5
	そ の 他						
	計	C	3		2		5
就職進学ともに志望した者		D	1				1
卒業生数		A+B+C-D	21		12		33

就職者の内訳 (平成19年3月卒)

区 分		性 別	男			女			計
			博士前期課程	博士後期課程	小計	博士前期課程	博士後期課程	小計	
製 造 業			4		4	3		3	7
運 輸 ・ 通 信 業			4		4	1		1	5
サ ー ビ ス 業			3		3	1		1	4
公 務			1		1	2		2	3
そ の 他			1		1	1		1	2
合 計			13		13	8		8	21

B. 本部事務局

本部事務局の職員数並びに各課の主な事務分掌は次のとおりである。

(1) 本部事務局の職員の状況（平成19年4月1日現在）

部 課 名		事務職員	技能労務職員	臨時的任用職員	非常勤嘱託員	日々雇用職員	合 計
事務局 長		1					1
副事務局 長		1					1
総 務 部	秘 書 課	1	2		3		6
	総 務 課	4			1		5
	財 務 課	3			1		4
企画調整部	企 画 課	3				1	4
	社会貢献課	3		1	5		9
学 務 部	学務企画調整課	3			2		5
	学術総合情報・応用情報課	4			1	1	6
計		23	2	1	13	2	41

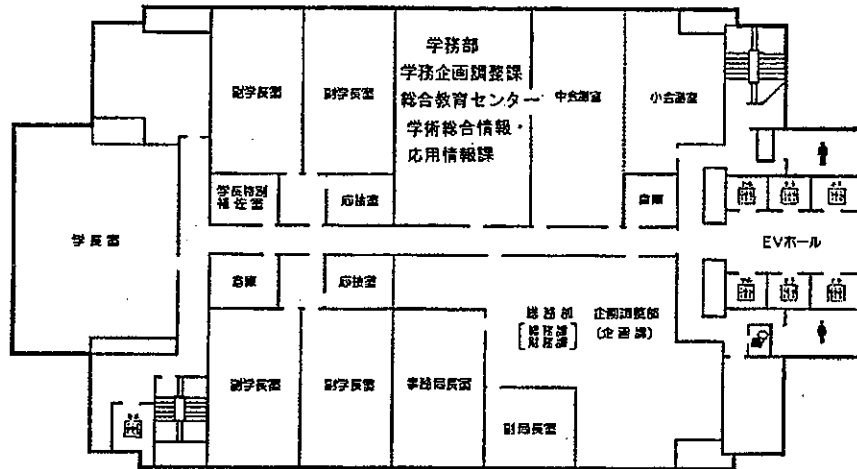
(2) 本部事務局の主な事務分掌

課 名	主な事務分掌
秘 書 課	学長、副学長の秘書に関すること 公用車に関すること 等
総 務 課	給与事務、教職員の人事、服務、教員の昇給制度等に関すること 臨時的任用職員、非常勤嘱託員等の任用に関すること 人事記録カード、出勤簿の整理に関すること 大学諸制度の整備及び調査研究に関すること 公印の看守、職員証の交付及び身分証明に関すること 等
財 務 課	歳入、歳入歳出外現金に関すること 報酬、共済費、賃金、報償費、旅費等に関すること 予算及び決算に関すること 受託研究、共同研究等外部資金の受入れに関すること 公有財産、教職員住宅、キャンパスの整備計画に関すること 等
企 画 課	評議会、運営協議会、学長・副学長会議、部局長会議に関すること 将来計画委員会、自己評価委員会、広報委員会、規程委員会の運営に関すること 大学改革、中期計画、大学評価に関すること 附属高等学校に関すること 等
社会貢献課	国際交流センター、学術交流協定、留学生に関すること 生涯学習交流センター、生涯学習推進委員会の運営に関すること 産学連携センター、知的財産、職務発明審査会に関すること 研究員のデータベースの運用に関すること 等
学務企画調整課	学務事務の総括、学生生活事務、奨学金、授業料の減免に関すること 教育改革、入学試験、入試広報に関すること 総合教育センターの運営に関すること 学生情報システム、遠隔授業システムの運営に関すること 就職情報に関すること 等

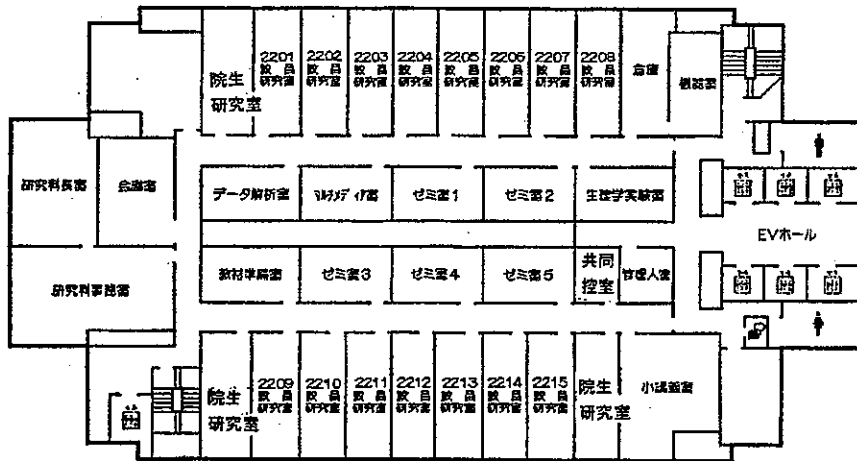
学術総合情報・応用情報課	学術総合センターの運営に関する事 神戸学術情報館の運営に関する事 応用情報科学研究科の教務・経理・庶務・学務に関する事 派遣型高度人材育成協同プランに関する事 等
--------------	--

(3) 神戸キャンパスの建物配置図

21F



22F



23F

